

## 長浜統合新校設置懇話会 第5回会議 概要

### 1 日 時

平成26年1月24日（金） 17:00～19:00

### 2 場 所

県立長浜北高等学校 セミナーハウス

### 3 会議の内容

統合新校の校名案について

### 4 出席者

#### (1) 委 員

浅見 幸則 委員（長浜市PTA連絡協議会 会長）  
岩崎 陽子 委員（長浜北高等学校 学校評議員）  
北川 庸子 委員（長浜高等学校 学校評議員）  
藤居 茂樹 委員（長浜市企画部 部長）  
宮腰 悦子 委員（児童文化活動支援グループ「すずめの学校」 代表）  
吉田 豊 委員（長浜北高等学校同窓会 会長）  
※ 田中 智佐人 委員（長浜高等学校同窓会 会長）は欠席

#### (2) 統合新校開設準備室

辻 浩一 統合新校開設準備室長（長浜北高等学校長）  
堤 須賀彦 統合新校開設準備室参事（長浜高等学校長）  
茶谷 不二雄 県教育委員会事務局学校支援課参事

### 5 主な意見

- 第4回懇話会では、「長浜」「長浜北」「長浜開知」の3つの校名候補に絞っていただいたが、今回はこれを踏まえ、新たな校名候補があれば挙げてもらい、さらに候補を絞り込んでもらいたい。
- 新たに「長浜ブライトン」を候補に挙げたい。明るだけでなく、賢い、利発などの意味もあり、新校の教育目標につながる校名、合致する校名である。また、自ら輝く（自立）、人を輝かせる（共生）の意味があり、英語教育や国際教育を推進することが一目瞭然となる校名。ただ、ブライトンはホテル名にもあるのが気にかかる。
- 両校は桐が校章に使われており、「長浜桐豊」を候補に挙げたい。応募理由の「豊かな心と体を育んでほしい」とあるのが良い。
- 5つの校名案について、候補とする理由およびそれぞれの校名候補について出された意見は次の通り。

#### 【長浜】

- 分かりやすく、大きい名前。長浜北の卒業生が反対する校名。
- 「長浜」は立派な名前では遜色がない。
- 既存の名前を付けると事務的に混乱するのではないかと。また旧の学校のイメージに支配されやすく、現在の学校を越えられない。
- 「長浜」「長浜北」どちらになっても卒業生の思いがあるので、既存の名前はどうか。
- 新校は長浜高校の校地になり、校名も「長浜」では吸収合併のイメージはぬぐいきれず、「長浜北」は何も残らないことになる。
- 「長浜」の校名が、現在使われていなければ「長浜」で良かったと思う。

### 【長浜北】

- 100年有余の伝統もあり卒業生も多い。応募数を見ても、卒業生の「長浜北」への思いは強いということがある。
- 長浜市を代表する進学校のイメージが引き継がれることになる。
- 県の南部の人々も「長浜北」の歴史やネームバリューは知っている。
- 「長浜」と同じく旧校のイメージを超えられない。
- 地理的に新校は長浜市の北ではなく南にある。

### 【長浜開知】

- 「開知」は教育の志がわかるし、新校に対する大きな期待という意味では良い校名。
- 長浜最初の小学校であり、原点に立ち返って、これからを見つめ直すという意味があるような校名。
- 長野県の「開智」が有名だが、「開知」と言えば長浜となれば良い。広く知られている「開智」よりも「開知」の方が良い。
- 明治時代の教育は長浜が一番だった。県下一の教育を目指してほしいという意味を持つ校名。
- 校名は単純なものが良い。
- 知を開くという意味で新校に繋がる校名だが、過去に向う感じ、古臭い感じは拭えない。
- 文明開化期の明治時代のイメージ。地域に密着しているが、ベクトルが過去に向かい、未来に向かってというイメージではない。
- 狭い旧長浜市にとっては地域に密着した校名と言えるが、その他の地域には親しい校名ではない。小学校の校名として最初に付けたというのがひっかかる。
- そのまま歴史には小学校の校名として残しておいた方が良い。

### 【長浜ブライトン】

- 新しいものに対する期待感を感じさせる。斬新な校名。
- 教育目標に合致している。音の響きも良く、生徒にも愛される校名。
- 英語の意味はわかるが、ホテル名のイメージは拭えない。
- 校訓の「自彊不息」からは、かけ離れた校名。
- 英語を校名につけるのは冒険のように思う。公立高校のイメージではない。
- 人名としても有名。私立学校が資本家からの出資を受けて設立し、その名を冠した校名にすることはあっても、公立校にはどうか。校名は日本語が良い。

### 【長浜桐豊】

- 高校の校章のデザインに桐が使われているということ。「豊」は豊かな心と体を育むという校名公募の理由から良い。語呂は良い。
  - 「桐」を付けるのは良いかもしれないが、豊臣秀吉のイメージが付きまとう。秀吉にはいろいろと思いを持つ人もいる。くどい印象がある。
  - 「桐豊」に意味が読み取れない。親しまれているのは旧長浜市内だけだ。浅井地域の人々の思いは違うはず。桐は校名でなく、校章で使えばよい。
  - 字画が多すぎる。
  - 現長浜市は浅井長政も輩出している。同窓会名に「桐」を使えば良い。
- 「長浜ブライトン」「長浜桐豊」は校名案として懸念される点の方が多かった印象がある。
- 第4回の意見を踏まえるべき。そもそも3つに絞って挙げた経緯がある。今日出された候補については、その他として「こんな校名も出ていた」と付記的に書いておけばよい。
- 「長浜」「長浜北」「長浜開知」と、今日新たに出された「長浜豊桐」「長浜ブライトン」を持ち帰り、教育委員会に報告してもらい、教育委員会で議論して決めてもらえば良い。